



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年2月4日
上場取引所 東

上場会社名 スガイ化学工業株式会社
 コード番号 4120 URL <https://www.sugai-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野間 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務部長 (氏名) 南 隆宏 TEL 073-422-1171
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,402	20.6	335	168.1	359	164.8	281	446.7
2021年3月期第3四半期	3,649	5.7	124	57.9	135	45.7	51	△28.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	205.73	—
2021年3月期第3四半期	37.63	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	10,668	6,257	58.6
2021年3月期	11,599	6,007	51.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 6,257百万円 2021年3月期 6,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期 (予想)				35.00	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,220	3.5	440	△12.1	460	△13.6	360	13.2	262.85

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	1,373,000株	2021年3月期	1,373,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	3,409株	2021年3月期	3,391株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	1,369,603株	2021年3月期3Q	1,369,671株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響下、ワクチン接種の進展による経済活動の段階的再開や、景気対策の効果により景気回復の動きが一部には見られました。しかし、新たな変異株の流行を含めた感染の再拡大により、社会・経済活動が再び制限され、個人消費、企業活動の停滞等が続いており、依然、不透明な状況となっております。

このような状況の中で、国内売上高は、3,899百万円となり前年同期（2,741百万円）に比べ1,157百万円（42.2%）の大幅な増収となりました。これは、機能性中間物が大幅に減少したものの、医薬中間物が増加、農薬中間物は大幅に増加したためです。

一方、輸出売上高は503百万円となり前年同期（907百万円）に比べ404百万円（44.6%）の大幅な減収となりました。これは、医薬中間物が増加したものの、農薬中間物が大幅に減少したためです。

この結果、売上高は4,402百万円となり前年同期（3,649百万円）に比べ753百万円（20.6%）の増収となりました。また、輸出比率は11.4%（前年同期24.9%）となりました。

利益につきましては、原料価格の著しい上昇、固定費の増加等はありませんでしたが、総売上高の増収、製造原価率の改善等により、営業利益は335百万円（前年同期124百万円）となりました。営業外収益で受取配当金37百万円を計上したこともあり、経常利益は359百万円（前年同期135百万円）となりました。特別損失で固定資産除却損24百万円を計上したこともあり、四半期純利益は281百万円（前年同期51百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ930百万円減少の10,668百万円となりました。これは主に、商品及び製品は326百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,110百万円、仕掛品が120百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前事業年度末に比べ1,179百万円減少の4,411百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金は189百万円増加しましたが、借入金が718百万円、設備関係支払手形が201百万円、未払費用が178百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産は前事業年度末に比べ249百万円増加の6,257百万円となり、自己資本比率は58.6%（前事業年度末51.8%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2021年11月5日の決算発表時に公表いたしました予想数値を修正し、売上高6,220百万円、営業利益440百万円、経常利益460百万円、当期純利益360百万円としております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	791,074	677,771
受取手形及び売掛金	2,736,955	1,626,360
商品及び製品	1,145,024	1,471,101
仕掛品	187,568	67,530
原材料及び貯蔵品	650,218	763,844
未収還付法人税等	—	57,486
その他	45,046	42,299
貸倒引当金	△8,251	△4,898
流動資産合計	5,547,635	4,701,495
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	638,828	630,900
機械及び装置（純額）	1,461,910	1,405,771
土地	1,328,624	1,328,624
その他（純額）	660,371	620,505
有形固定資産合計	4,089,734	3,985,801
無形固定資産	5,817	5,817
投資その他の資産		
投資有価証券	1,857,577	1,897,143
関係会社株式	3,819	3,819
その他	108,764	88,886
貸倒引当金	△14,165	△14,166
投資その他の資産合計	1,955,995	1,975,682
固定資産合計	6,051,548	5,967,302
資産合計	11,599,183	10,668,798
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	699,050	888,998
短期借入金	1,400,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	393,552	399,952
未払法人税等	136,712	8,833
未払費用	636,753	458,281
賞与引当金	86,277	31,170
設備関係支払手形	300,540	98,547
その他	349,321	241,054
流動負債合計	4,002,208	2,926,838
固定負債		
長期借入金	1,011,829	886,861
退職給付引当金	417,926	394,669
その他	159,350	203,200
固定負債合計	1,589,106	1,484,730
負債合計	5,591,314	4,411,568

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,510,000	2,510,000
資本剰余金	2,016,543	2,016,543
利益剰余金	874,379	1,115,061
自己株式	△5,339	△5,366
株主資本合計	5,395,582	5,636,237
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	616,300	620,665
繰延ヘッジ損益	△4,014	325
評価・換算差額等合計	612,286	620,991
純資産合計	6,007,868	6,257,229
負債純資産合計	11,599,183	10,668,798

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	3,649,502	4,402,865
売上原価	2,954,400	3,476,986
売上総利益	695,102	925,879
販売費及び一般管理費		
発送運賃	25,808	27,615
従業員給料及び手当	234,275	236,856
賞与引当金繰入額	9,064	9,291
退職給付費用	12,774	13,693
その他	288,187	303,381
販売費及び一般管理費合計	570,111	590,838
営業利益	124,991	335,041
営業外収益		
受取利息	56	30
受取配当金	34,848	37,016
為替差益	—	4,063
保険解約返戻金	—	8,159
その他	8,454	7,812
営業外収益合計	43,359	57,083
営業外費用		
支払利息	8,079	9,596
休止固定資産維持費用	13,081	12,738
為替差損	4,474	—
その他	6,818	9,921
営業外費用合計	32,453	32,257
経常利益	135,896	359,867
特別損失		
固定資産除却損	69,665	24,608
その他	8,530	—
特別損失合計	78,195	24,608
税引前四半期純利益	57,701	335,259
法人税、住民税及び事業税	6,435	22,144
法人税等調整額	△275	31,344
法人税等合計	6,159	53,489
四半期純利益	51,541	281,770

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用しました。これにより、当社が有償支給先となる有償支給取引のうち有償支給元が当該支給品を買い戻す義務を負っている取引については、第1四半期会計期間の期首から従来の有償支給元への売戻し時に顧客から受け取る対価の総額を収益として認識する方法から、当該有償支給取引に係る支給品の仕入相当額を対価の総額から控除した純額を収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第3四半期累計期間の売上高及び売上原価は164百万円それぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益、税引前四半期純利益及び利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

3. 補足情報

(生産及び販売の状況)

当社は、単一セグメントであるため、製品の種類別ごとの生産及び販売の状況を記載しております。

① 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

区 分	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
医薬中間物	907,564	22.6	978,628	20.5
農薬中間物	2,252,760	56.1	3,101,658	64.9
機能性中間物	544,006	13.5	379,231	7.9
界面活性剤	278,330	6.9	305,566	6.4
その他	33,039	0.9	12,027	0.3
合 計	4,015,701	100.0	4,777,112	100.0

② 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を製品の種類別に示すと、次のとおりであります。

区 分	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
医薬中間物	793,932	21.8	1,086,928	24.7
農薬中間物	1,876,985	51.4	2,565,772	58.3
機能性中間物	626,838	17.2	402,579	9.1
界面活性剤	273,366	7.5	265,886	6.0
その他	78,378	2.1	81,698	1.9
合 計	3,649,502	100.0	4,402,865	100.0